

～子供たちの主体的・協働的な姿～

副校長 岐津 明

来週から2月、そして、間もなく節分、立春を迎えます。暦の上では春となります。

「1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。」などと言われますが、3学期は特に時の早さを感じます。年度末に向けて一日一日を大切に過ごしたいものです。

3学期が始まり、1月19日(月)から1月26日(月)まで「校内書初め展」が開催されました。冬休み中も頑張って練習に取り組んだ成果が力強い作品となって、廊下には子供たちの見事な作品が並びました。この間、保護者の皆様にも子供たちの作品を観ていただくことができました。ありがとうございました。



さて、2月14日(土)には学習発表会を予定しています。狛江第一小学校の子供たちは生活科、総合的な学習の時間、生活単元学習で、自分の目標を立て、よりよい解決方法について考え、仲間と協働しながら調べたり話し合ったりするなど具体的に行動しながら主体的に学習を進めてまいりました。一年間の学習を通して、一小の子供たちは自己の考えを着実に深めてきました。当日は、これまで取り組んできました探究型の学習の集大成として保護者や地域の皆様に学びの成果を発表します。当日は、子供たちの取組を温かく見守っていただけると幸いです。

4年2組担任の上山萌子教諭は出産に伴い、2月17日よりお休みをいただきます。4年2組には算数習熟度別学習指導担当の山本千聖教諭が入ります。御承知おきください。

2月の生活指導

『寒さに負けない体をつくろう』

寒さが一段と厳しさを増し、体を丸め、うつむきながら登校してくる児童を多く見掛けるようになりました。寒いときこそ前を向いて、元気な挨拶で一日を始められるよう、声を掛けていきます。また、インフルエンザなど流行する季節です。学校では、手洗い・換気の声掛けとともに、元気に外遊びをするように子供たちに指導をしています。御家庭でも声掛けをお願いします。寒い朝は、ついポケットに手を入れてしまいがちですが、学校では、安全のため、ポケットから手を出して登下校するよう指導しています。御家庭でも手袋の着用を促すなどの御配慮をよろしくお願いいたします。

ふれあい月間

年度末が近づいてきました。子供たちも一年間頑張ってきて疲れが出る頃です。トラブルは「心のゆとり」がないときに起きやすくなります。

狛江市では、毎年6月、11月、2月をふれあい月間とし、いじめ、不登校、問題行動等の早期発見、早期対応の取り組みを行っています。

本校では、子供たちへのアンケートを通して一人ひとりの抱える悩みや困り感を把握したり、教員研修会を行ったりなどの取り組みを行っています。

子供たち全員が「安心・安全」な学校生活を送ることができるように、子供たち一人ひとりが「心のゆとり」をもてる環境を一層整備することができるよう職員一同今後も努めてまいります。今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。